

洪水・土砂災害ハザードマップ④ (1000年に一度程度の「想定最大規模」降雨の洪水浸水想定区域図です)

● 市役所 ● 雨量観測所 ■ 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊) ○ なだれ危険箇所
● 消防 ● 水位観測所 ■ 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) ○
● ふくいのおいしい水(湧水地) ● 河川監視カメラ ■ 土砂災害特別警戒区域(土石流) ○
● 警察 ● 重要水防区域 ■ 土砂災害警戒区域(土石流) ○
● 救急病院 ● ため池浸水想定区域 ■ 土砂災害警戒区域(地すべり) ○

■ 指定避難所 ■ 福祉避難所

0 500 1,000m
 1:25,000

洪水・土砂災害ハザードマップについて
 以下の河川の降雨結果を反映したハザードマップです。

河川名	想定最大規模の降雨条件
九頭竜川(中流)	2日間の総雨量 652mm
九頭竜川(上流)	2日間の総雨量 641mm
真名川	2日間の総雨量 776mm
木瓜川、日詰川、内川、堂動川、旅塚川、嵐谷川、荒島谷川、シッタカ谷川、小尾谷川	1日間の総雨量 813mm
清滝川、大納川	1日間の総雨量 802mm
赤根川	1日間の総雨量 785mm
打波川	1日間の総雨量 730mm
石徹白川	1日間の総雨量 719mm

ダムの緊急放流とは

緊急放流は、「異常洪水時防災操作」と呼ばれ、通常の放流と異なって、これ以上ダムに水をためられないと想定される際に、ダムに流れこんでくる大量の水を下流に流す操作です。

この放流によって川の水位が急激に増える可能性があります。

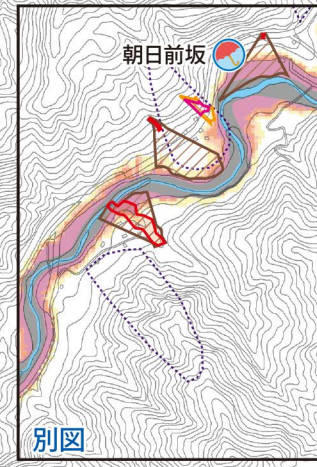
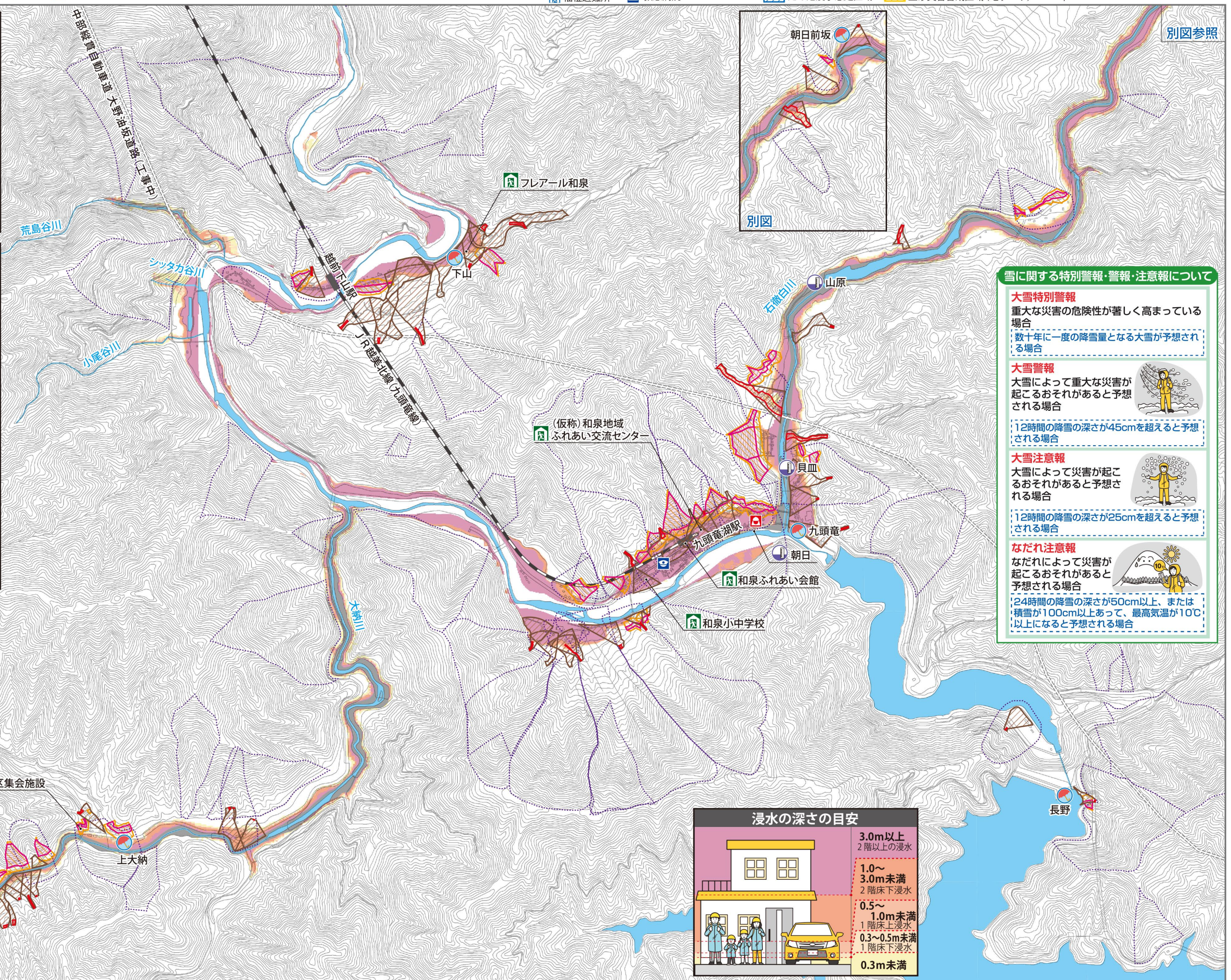
ダム下流の住民の方は、川の水位の急な上昇や氾濫に備えて、命を守る行動をとりましょう。

ダムの事前放流とは

事前放流は、大雨によりダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)が必要になると想定される際に、事前にダムにたまった水を下流に流し、洪水に備える操作です。

この放流によって、雨が降る前から河川の水位が上昇します。

ダム下流の住民の方は、川に近づかないようにしましょう。



雪に関する特別警報・警報・注意報について

大雪特別警報
 重大な災害の危険性が著しく高まっている場合
 数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

大雪警報
 大雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合
 12時間の降雪の深さが45cmを超えると予想される場合

大雪注意報
 大雪によって災害が起こるおそれがあると予想される場合
 12時間の降雪の深さが25cmを超えると予想される場合

なだれ注意報
 なだれによって災害が起こるおそれがあると予想される場合
 24時間の降雪の深さが50cm以上、または積雪が100cm以上あって、最高気温が10℃以上になると予想される場合

